

つながる森林、よみがえる森林

県営林道田口十石峠線の市町境界間が開通



林道田口十石峠線

平成3年度から開設中の県営林道田口十石峠線は、事業計画区間の17.1kmのうち、これまでに14.3km（約83%）が開通しました。この林道は千曲川右岸の森林中腹の、主要地方道下仁田臼田線から国道299号までを南北に連絡し、森林の整備や木材搬出のための幹線としての役割を担っております。

この工区の開通により、佐久市赤谷地区と佐久穂町余地地区との林道による往来が可能となりました。

これにより、周辺の森林が一層整備され、林産物の生産活動や集落間の交流が活発となることが期待されます。

佐久市内山地区の奥地保安林緊急対策事業が概成



森林の風倒木被害



復旧後の森林の状況



山腹崩壊被害

平成19年台風9号（9月5日～7日）により佐久地域では、豪雨と強風により、風倒木・山腹崩壊など甚大な被害が発生しました。

特に、被害の大きかった佐久市内山地域において、保安林の早期機能回復を図るため、平成19年度から平成23年度の5カ年をかけて、集中的に事業を実施し、平成23年度をもって事業が完了しました。

復旧後の山腹状況

事業の実施に当たり、ご協力をいただきました関係者の皆様に感謝いたします。今後とも、地域の保安林の適正な管理を行い、「災害に強い森林づくり」を目指していきます。